

東日本大震災 岐阜民医連支援ニュース

=こころは一つ、オール民医連で全国の仲間とともに困難を乗り越えよう！=

NO. 7

2011. 3. 23

岐阜民医連支援対策本部

第2次支援隊無事現地入り



昨日朝出発した第2次支援隊は、昨夜は鶴岡で1泊し本日昼前に無事坂総合病院に到着しました。相変わらずガソリン事情は好転していないようで、ガソリンの補給に苦戦しながらの道中だったようです。支援隊の現地到着の第一声は「悲惨です。言葉もありません。」でした。

午後からはそれぞれ現地での活動に合流しています。戸崎さんは、松島にて患者さん宅の手伝いや「つばさ薬局」の清掃でヘドロまみれだそうです。支援隊は、25日まで活動し、26日に帰路に就く予定です。全日本では、岩手への支援も開始しすでに北海道、青森、秋田、岩手の仲間が大船渡を中心に活動しています。

今日までの支援者数：12名

医師：3名

看護師：2名

薬剤師：1名

理学療法士：1名

事務：3名

学生：2名

「いのちのボタン」はコープ岐阜へ

現地へ向けて出発します。感謝！

華陽診では、患者さんからいただいた毛布、ひざかけ(ダンボール20箱)を、22日にコープぎふ災害物資輸送車に託し、23日に被災地へ向けて出発します。愛知岐阜三重3県合同便で必要物資とガソリンを現地に届けるとのことです。こころはひとつ、水野事務長と生協職員がエールを交換しました。



義捐金集約100万円に迫る勢い！！

義捐金の集約が各法人・事業所から次々と報告されています。華陽診からは123,000円、みどり福祉会からは145,058円など職員・患者・利用者のみなさんからたくさんのご協力をいただいています。昨日までに、県連に届いた金額743,058円を本日全日本民医連に振り込みました。



医療系学生16名が新岐阜駅前街頭募金

21日、岐阜民医連奨学生のおくらの呼びかけで、「さるぼぼ会」のメンバーを中心に16名の青年が集まり、新岐阜駅前等で街頭での救援募金の訴えを行いました。参加した学生の一人は、「被災地の人を救いたい。何かしたい思いで訴えた。募金に協力する人から元気をもらえる」と語っていたそうです。(3月23日付赤旗記事)

3月23日現在の義捐金集約：954,218円です

全日本民医連ホームページに震災支援関係のニュースや動画がアップされています。ぜひご覧ください。震災支援に関する取り組み状況を対策本部(土井:msnr-doi@gifu-min.gr.jp)までお寄せください。